



発行 ● 狛江市政策室  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎ 3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階A号  
☎ 3430-6617 FAX3430-6743



# 南北走る幹線に史跡や緑地

## 松原通り

松原通りは、狛江市と武蔵野市を結ぶ延長12.7kmの都道114号線の一部で、世田谷通りの狛江高校交差点から調布市仙川町3丁目付近の国道20号線との交差点まで約4.5km。狛江市内は狛江高校交差点から野川大橋まで約2.6kmの市の中心部を南北に貫いている。

平成24年に調布都市計画道路3・4・17号線整備事業により、狛江高校交差点から田中橋交差点まで約650mが開通し、調布方面との交通事情が改善された。

この区間は片側1車線の車道両側に歩道が整備されたほか、電柱が地下に埋設され、10カ所以上の緑地が設けられるなど、良好な環境が生まれている。

この道路が整備される前は田中橋交差点から亀塚古墳付近を経て狛江第三中学校

西側を通る細い道を使って世田谷通りへ抜ける車や人も多かった。この道は現在も都道114号線となっている。

松原通りの街路樹は狛江高校～田中橋間はハナミズキ、サツキツツジ、オオムラサキツツジなど、田中橋～松原間はトウカエデ、松原～野川大橋間はハナミズキ、ヒラドツツジ、オオムラサキツツジなどが植えられている。

かつて松原通りの沿道にケヤキなどが植えられ、松原一帯は名前の通り松林が多かったという。田中橋から御台橋手前までは江戸時代初めに石谷家の馬場があったと伝えられ、その頃から直線だったという。

## 西河原通り

多摩川堤防近くの元和泉3丁目付近から元和泉市民テニスコートを経て狛江高校

## 1 元和泉市民運動ひろば

元和泉3-10 親子連れなどが安心してボール遊びなどができるよう周りをフェンスで囲んだ広場で平成30年にオープンした。



## 2 元和泉市民テニスコート

元和泉2-8-1 昭和53年にオープンし、平成20年に改修が行われた。硬式テニスと軟式テニスに対応した全天候型的人工芝のコートが4面ある。男女更衣室のある管理棟と8台分の駐車場を備えている。北側にはバスケットゴールリング2基を設け、周囲をフェンスで囲んだ元和泉スリーオンスリーコートがある。



## 3 亀塚古墳公園

元和泉1-21-12

5世紀末頃に造られた長さ約41m、高さ約7mもある帆立貝形の前方後円墳で、多摩川中流域で屈指の古墳といわれる。昭和26年に発掘調査が行われ、石棺と銅鏡や鉄剣、馬具など数多くの副葬品が出土した。そのうちの人物や動物の像が高句麗の古墳石室内の壁画に類似していることから、狛江地域と渡来人の関係が指摘されてきた。墳丘の大部分は宅地造成工事で失われ、現在は前方部がわずかに残るだけとなっているが、上部に31年に立てられた徳富蘇峰の筆による「狛江亀塚」の石碑がある。また、出土した遺物は東京国立博物館に収蔵されている。

ことし4月に「亀塚古墳公園」として整備された。墳丘を取り巻く周溝の位置をツツジの植栽で表すなど、古墳のおもかげをしのぶ配慮がなされている。

## 4 田中橋石碑

元和泉1-14-21

現在の六郷さくら通りを流れていた六郷用水に架かっていた田中橋は、昭和40年の用水の埋め立てで姿を消した。橋の石柱は田中橋交差点東側の高千穂稲荷のわきに移設され、かつてのおもかげを伝えている。

## 5 松原庚申堂

和泉本町1-25

堂内には珍しい西向きの庚申様がまつられ、病気や商売繁盛にご利益があるとされる。昭和39年に庚申塔と地藏尊を合わせてまつるとともに、地元の人たちで松原庚申地蔵講を結成した。その後も道路の拡張などで松原通り周辺の他の場所から石造物が集まり、現在では9体を数える。平成23年に「狛江のまち-魅力百選」に選ばれた。



## 道路の緑育てる市民

狛江高校交差点から田中橋交差点間の松原通りには、平成24年の整備事業にともなってきた緑地が10カ所以上あり、さまざまな木や草花が植えられ、開通記念として和泉小学校の児童がモクレンやネムノキなどを植樹、順調に育っている。

緑地のうち2カ所は、近隣住民が市のアドプト制度に登録し、定期的に清掃や花壇の植え替え、除草活動などを行っている。

○「木の葉会」(元和泉2-20付近)は、植物好きの家族が27年にアドプト制



## 6 子之三島神社

西野川1-17-8

覚東地区の鎮守で、明治時代初めに「三島」と呼ばれた地区にあった三島神社と子之神社を合わせてまつった。祭神は「おおなむらのかみ」と「おおやまのくのかみ」大山咋神。例年の秋祭りでは、みこしやはやしが街をにぎやかに練り歩く。

度に登録し、年2回、花を植え替えるほか、水やりなどの世話を毎日続けている。「世話をしている木や草に花が咲くとうれしくなります」と話している。

○「小高木」(元和泉2-19付近)は、緑地ができた時に市の呼び

かけに応じて3人の住民で活動を始め、25年にアドプト制度に登録した。毎日の水やりに加え、草取りを月2、3回行うほか、歩道に春と秋に花を植えている。「面積が広いので、水やりが少し苦勞しますが、散歩する人と植物の話をしたり、お礼を言われるのがうれしいです」と話している。



● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用制限を行っている施設、中止しているイベント等があります ● 健康維持のため散歩等を行う場合も、咳エチケットや手洗い徹底、密集を避けるなど、感染拡大防止に協力をお願いします ● 施設などに立ち入る場合は必ず許可を得てください。